第 3 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 議 事 録

平成30年 2 月 20 日

定 例 会

平成30年第3回越谷市教育委員会議事録

招集年月日 平成30年2月20日
招集の場所 第3委員会室
開閉会日時 開会2月20日 午後 1時30分
閉会2月20日 午後 3時11分

出席委員

委員長 職務代理者	堀川 智子	委員	進藤 秀子
委員	荒木 明子	委員 (教育長)	吉田 茂

欠席委員

委員長 住田 俊

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	横川 清	学校教育部長	瀧田 優
教育総務部 副部長兼 スポーツ 振興課長	矢部 新治	学校教育部 副参事兼 学務課長	岡本 順
教育総務課長	渡辺 真浩	学校教育部 副参事兼 指導課長	小林 俊夫
図書館長	横山 みどり	学校管理課長	紺野 功
生涯学習課 調整幹兼 科学技術体験 センター所長	小林 中子	給食課長	田川 啓二
生涯学習課 調整幹	木村 和明	教育センター 所長	鈴木 雅彦
		指導課調整幹	青木 元秀
		給食課 調整幹兼 第一学校給食 センター所長	石川 智啓

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課
副課長 並木 智史

	議 事	て ん 末
議	教育長報告	
	・教育長専決について	
	議 案	
	・第4号議案 平成29年度皆勤賞等被表彰者の決定について	原案可決 (秘密会)
	協議事項	
	・平成30年度越谷市教育行政重点施策について	
	・留守番電話の設置・活用について	
	・越谷市いじめ防止基本方針(素案)について	
事		
状		
況		

◎開会の宣告

堀川委員長職務代理者 それでは、これより2月の定例教育委員会会議を開会いたします。

なお、本日は、住田委員長が欠席のため、私が委員長の代理として会議を主宰いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

本定例会に関し、現在のところ傍聴許可願の提出はございませんが、「越谷市教育委員会傍聴人規則」第1条第2項の規定により、開会後に許可願が提出された場合、傍聴を許可したいと存じます。

初めに、教育長報告、専決第3号、第4号議案については、人事案件等であることから秘密会とし、先に審議したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

堀川委員長職務代理者 ご異議ないようですので、そのように進めさせていただきます。

(午後 1時30分)

堀川委員長職務代理者 なお、会議中でございますが、ただいま2名の方から傍聴許可願が提出されましたので、これを許可したいと思います。

◎教育長報告「教育長専決について」

堀川委員長職務代理者 それでは、議事を続けます。

それでは、教育長報告「教育長専決第1号について」、教育長の説明を求めます。

吉田教育長 教育総務部長。

横川教育総務部長 それでは、専決第1号 平成29年度越谷市教育費補正予算の見積りについてご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の3ページをご覧ください。

専決第1号 平成29年度越谷市教育費補正予算の見積りについて。

平成29年度越谷市教育費補正予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

平成30年2月2日、越谷市教育委員会教育長。

恐れ入りますが、お手元の別冊1の平成29年度越谷市教育費補正予算総括表及び予算説明書、こちらの2ページ、それから3ページをご覧ください。

初めに、歳入についてでございますが、3ページの表の一番下でございます歳入合計欄をご覧ください。教育委員会に関連する歳入につきましては、今回1,176万5,000円を増額し、補正後の総額は20億7,173万1,000円となります。

歳入の内容でございますが、恐縮でございますが、10ページ及び11ページ、こちらの(1)、歳

入予算説明書をご覧ください。

16款寄附金、1項寄附金、5目教育費寄附金につきましては、ふるさと納税による科学技術体験センターに対する指定寄附がございましたので、科学技術体験センター寄附金2万円を追加いたします。

また、19款諸収入、6項雑入、1目雑入につきましては、しらこぼと運動公園競技場3種公認継続改修工事に係るスポーツ振興くじ助成金として870万円を追加いたします。また、平成27年9月の学校施設の台風被害に対する保険金として、建物損害等共済金282万円を追加するほか、その他の雑入として、市民総合災害等補償金22万5,000円を追加するものでございます。

次に、歳出についてでございますが、戻りまして、5ページ下段の教育費に係る歳出合計欄をご覧ください。今回4,102万5,000円を減額し、補正後の総額は93億1,505万1,000円となります。

歳出の内容について主なものをご説明申し上げます。14ページ及び15ページの(3)、事業別予算説明書をご覧ください。

中段やや上になりますが、10款教育費、2項小学校費、1目学校管理費の小学校施設管理費につきましては、事業の進捗に伴い、光熱水費2,300万円を減額いたします。

下段の3項中学校費、1目学校管理費の中学校施設管理費につきましては、事業の進捗に伴い、光熱水費2,200万円を減額いたします。

16ページ、17ページをご覧ください。上段の6項社会教育費、4目公民館費、その他公民館費につきましては、公民館の主催事業においてけがをされた方に対して支払う、市民総合災害等補償金として5,000円を追加いたします。

次の7項保健体育費、2目学校給食費のうち給食センター施設管理費につきましては、学校給食センターに係る燃料費800万円を追加いたします。

次の7項保健体育費、3目体育費、その他体育費につきましては、市主催のスポーツ大会においてけがをされた方に対して支払う、市民総合災害等補償金として22万円を追加いたします。

最後に、戻りまして6ページをご覧ください。(3)、債務負担行為の変更でございますが、明正小学校に係る小学校仮設教室賃借費につきましては、事業費が確定したことに伴い、限度額を変更するものでございます。

専決第1号に係る報告は以上でございます。

堀川委員長職務代理者 ただいまの事務局の説明に対して、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

堀川委員長職務代理者 ないようですので、この件については報告を受けたということにさせていただきます。

次に、教育長報告「教育長専決第2号について」、教育長の説明を求めます。

吉田教育長 学校教育部長。

瀧田学校教育部長 それでは、専決第2号 平成30年度越谷市教育費予算の見積りについてご報告をさせていただきます。

恐れ入りますが、会議要項の5ページをご覧ください。

専決第2号 平成30年度越谷市教育費予算の見積りについて。

平成30年度越谷市教育費予算の見積りについて、別冊のとおり専決処理する。

平成30年2月2日、越谷市教育委員会教育長。

説明に先立ち、お手元に配付いたしました会議資料のうち資料1、「平成30年度当初予算主要事業一覧」の1ページをご覧ください。平成30年度当初予算につきましては、昨年12月の定例会において、各課の重点施策とあわせて、予算要求する主要な事業を中心にご説明申し上げ、ご協議をいただいたところがございます。この表は、当初予算査定の結果として、予算措置のされた主要な事業を一覧で表したものです。恐れ入りますが、事業内容及び予算額につきましては、後ほどご参照いただき、ご了承賜りたいと存じます。

それでは、平成30年度越谷市教育費当初予算の見積りについて、順次ご説明申し上げます。

なお、平成30年度当初予算の見積りのうち歳出の詳しい内容については、後ほどご協議いただく「平成30年度越谷市教育行政重点施策」と関連していることから、重点施策の説明の際に、各課所長からご説明申し上げますので、私からは、別冊2、平成30年度越谷市教育費予算書に基づき、その概要についてご説明申し上げます。

それでは、お手元の別冊2の4ページ、下段の歳出合計欄をご覧ください。

初めに、平成30年度の一般会計当初予算は、対前年度比1.2%増の915億円でございます。そのうち10款教育費につきましては、対前年度比1.8%増の94億5,809万8,000円となっております。

次に、歳入の主なものについてご説明申し上げます。恐れ入りますが、14ページ及び15ページの(6)、歳入予算説明書をご覧ください。

初めに、11款分担金及び負担金、1項負担金につきましては、日本スポーツ振興センター負担金1,220万円を計上いたします。

12款使用料及び手数料、1項使用料につきましては、科学技術体験センターをはじめとした各教育施設の使用料及び行政財産使用料として2億4,131万円を計上いたします。

16ページ及び17ページをご覧ください。13款国庫支出金、2項国庫補助金につきましては、幼稚園就園奨励費補助金1億3,400万円や区画整理事業費補助金800万円が主なものでございます。

14款県支出金、2項県補助金につきましては、いじめ・不登校対策充実事業助成金900万円や被災児童生徒就学等支援事業費補助金合計140万円が主なものでございます。

18ページ及び19ページをご覧ください。19款諸収入のうち3項貸付金元利収入につきましては、入学準備金貸付金償還金3,500万円を計上いたします。

6項雑入、1目雑入につきましては、学校給食費実費徴収金13億3,000万円のほか各種実費徴収金等を計上いたします。

20ページ及び21ページをご覧ください。20款市債、1項市債につきましては、川柳小学校校舎増築事業債1,500万円及び給食センター整備事業債8,850万円を計上いたします。

以上が歳入予算の主なものでございます。

続きまして、歳出の主なものについて順次ご説明申し上げます。冊子の中ほどにピンク色の合紙があります。それ以降の部分ということになります。

それでは、教育費事業別予算説明書の10ページ及び11ページをご覧ください。1項教育総務費、2目事務局費のうち特別支援教育支援員等配置事業につきましては、児童生徒の教育ニーズに合わせて、特別支援教育支援員を増員し、配置するための経費として、臨時職員賃金など6,234万円を計上いたします。

次に、12ページ及び13ページの下段になります。3目学校教育指導費のうち外国語指導事業につきましては、語学指導助手の増員と効果的な活用を図るため、外国語指導委託料7,200万円を計上いたします。

次に、22ページ及び23ページの下段です。4目教育センター費のうち教育相談事業につきましては、不登校やいじめ等の課題を抱える児童生徒や保護者の相談に当たるため、各種相談員やスクールソーシャルワーカーの報酬など6,064万円を計上いたします。

次に、34ページ、35ページの下段です。2項小学校費、1目学校管理費のうち小学校施設改修費につきましては、安全かつ快適な学習環境の確保のため、学校施設の改修等に係る工事費及びトイレ改修工事費など9,510万円を計上いたします。

次に、40ページ及び41ページ、下段になります。3目学校建設費のうち増改築事業につきましては、児童数増加による教室不足解消のため、校舎の増築に係る設計委託料など2,971万円を計上いたします。

次に、66ページ及び67ページの上段になります。6項社会教育費、1目社会教育総務費のうち文化財調査事業につきましては、大道遺跡の発掘調査に係る埋蔵文化財調査補助業務委託料など2,604万円を計上いたします。

次に、80ページ及び81ページの下段になります。5目図書館費のうち蔵書等整備事業につきましては、資料管理の充実や利用者の利便性の向上を図るため、図書館システム電算委託料など6,230万円を計上いたします。

次に、92ページ及び93ページの中段になります。7項保健体育費、2目学校給食費のうち学校給食栄養管理事業につきましては、給食内容の充実を図るため、給食材料費13億3,800万円など、学校給食の提供に係る経費として14億2,472万円を計上いたします。

次に、100ページ及び101ページの上段になります。3目体育費のうちスポーツ教室等開催事業

につきましては、勤労者スポーツ教室や障がい者スポーツ教室、老人福祉施設等への出前講座など、誰もが気軽に参加できるスポーツ教室等を実施するための経費として、講師等謝礼など173万円を計上いたします。

以上が歳出予算の主なものでございます。

専決第2号についての報告は以上でございます。

堀川委員長職務代理者 ただいまの事務局の説明に対して、何かご質問、ご意見等はございますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 10ページ、11ページのところなのですが、特別支援教育支援員の臨時職員の賃金の関係なのですが、これは大体何名くらいを予定されていますか。

吉田教育長 学務課長。

岡本学務課長 それでは、お答え申し上げます。

特別支援教育支援員等配置事業の中の7節の賃金の部分でございます。臨時職員賃金で6,000万円ということで今回予算案として計上させていただいておりますが、その内容は、右側の事業概要の1番、特別支援教育支援員、ここの賃金と2番、3番までの賃金が含まれているところでございます。

今お尋ねの特別支援教育支援員につきましては、これは平成30年度予算の中では53名ということで予定をさせていただきたいと考えているところでございます。

以上です。

吉田教育長 ちなみに去年は。

岡本学務課長 平成29年度当初は50名ということで、3名の増員をさせていただいております。なお平成29年度は、年度途中に補正予算で3名を増員させていただいておりますので、平成30年度からは、通年で53名ということで予算を計上しております。

以上です。

進藤委員 今度は13ページ、一番下のところの外国語指導事業のところのALTの委託料ですね。

これに関しては、大体何名ぐらいを予定しているのかということと、あと1つの学校にどのくらいの配置割合なのかということをお教えください。

吉田教育長 指導課長。

小林指導課長 ALTにつきましては、平成29年度は27名配置をしております。平成30年度につきましては、5名増員して32名というふうに考えております。

配置の割合ですが、中学校については1校に1名。それから、小学校につきましては、平成30年度から新しい教育課程への移行期間ということで、3、4年生で15時間、5、6年生につきましては、現行の35時間プラスやはり15時間というふうに授業が増えますので、全ての授業にALT

をうまく組み合わせて必ず入るような形にするために、5名増員ということで、小学校は必ず外国語活動及び英語科の授業につきましてはALTを原則としてつけるように配置を考えています。

吉田教育長 完全実施になった場合については、さらにプラスを考えているのですか。

小林指導課長 その場合にはやはりもっと増えますので、今後、お願いをしながら配置を増やしていきたいというふうに考えています。

堀川委員長職務代理者 他にございませんでしょうか。

[発言する者なし]

堀川委員長職務代理者 他にないようですので、この件については報告を受けたということにさせていただきます。

◎平成30年度越谷市教育行政重点施策について

堀川委員長職務代理者 それでは、続きまして協議事項に入ります。

「平成30年度越谷市教育行政重点施策について」、教育長の説明を求めます。

吉田教育長 教育総務部長。

横川教育総務部長 それでは、平成30年度越谷市教育行政重点施策についてご説明申し上げます。

まず、私からはスケジュールの確認と、策定に当たっての考え方等についてご説明を申し上げた後、各担当課所長から、「重点的な取り組み」及び「重点事業」について順次ご説明申し上げます。

それでは、初めに策定スケジュールについて確認をさせていただきます。お手元の資料3の「平成30年度『教育行政方針』及び『教育行政重点施策』策定スケジュール」をご覧ください。

本日の会議は、網掛けをしてある2月20日の箇所になります。「教育行政重点施策」につきましては、1月定例教育委員会会議において議決いただきました「教育行政方針」との整合を図るため、並行して調整を行ってまいりました。具体的には、スケジュールの中の10月26日開催の10月定例教育委員会会議で、『教育行政方針』と『教育行政重点施策』の双方に反映させる事業を「重点事業一覧表」という形で提案し、委員の皆様のご了承をいただきました。

その後、「市長の所信表明」や「平成30年度当初予算」、さらには「平成30年度教育行政方針」などを踏まえまして修正を行いました。

お手元の資料2、「平成30年度教育行政重点事業一覧表」をご覧ください。この一覧表の見方ですが、前回からの修正箇所として、削除した部分は見え消し、追加した部分は下線を引いてあります。網掛けをした重点事業につきましては、調整の結果追加したものでございます。なお、単なる言い換えや細かな字句の変更箇所につきましては、網掛けを施しておりません。

主な変更点といたしましては、一覧表の4ページの一番下の段にあります「小学校校舎の増築」について追加いたしました。詳細につきましては、後ほどご参照いただきたいと思います。

今後のスケジュールにつきましては、本日の協議結果を踏まえ、再度事務局内で調整を行った後、3月23日開催予定の定例教育委員会会議に「議案」として提出したいと考えております。

スケジュールについては以上でございます。

次に、平成30年度教育行政重点施策の策定に当たっての考え方等について説明をさせていただきます。恐れ入りますが、お手元の別冊3の「平成30年度越谷市教育行政重点施策（案）」の表紙から2枚めくっていただき、目次をご覧ください。

この冊子は、平成29年度版と同じ構成となっております。1ページから7ページまでは、3月定例市議会において表明する「平成30年度教育行政方針」を掲載し、9ページから36ページまでが本編となる「教育行政重点施策」の内容。37ページ以降には、「資料」として各事業の指標及び教育費予算を掲載しております。

それでは、こちらの9ページをご覧ください。重点施策では、教育行政方針を受け、平成30年度に特に重点的に取り組む教育施策の具体的な事業内容を明示いたします。第2期教育振興基本計画を真に実効性のある計画とするための単年度の実行計画的な位置づけとし、P D C Aのマネジメントサイクルにおいては、D（実行）に当たる部分となります。

次の10ページから13ページまでは、当該年度の「重点的な取り組み」及び「重点事業」を一覧表にまとめ、ひと目でわかるよう、簡潔明瞭に表記をいたしました。また、事業の詳細をすぐに検索できるよう、関連ページを表示するとともに、新規事業及び拡充事業については、それぞれ括弧書きで表示してあります。

平成29年度と比較して、「重点的な取り組み」の数については、60から54へ6つ減少、「重点事業」の数については、71事業から62事業へと9事業減少いたしました。平成29年度版に引き続き、新規・拡充事業に限らず、継続事業であっても重点的に取り組む事業については掲載することとしております。

次に、14ページをご覧ください。こちらは「重点的な取り組み」及び「重点事業」の見方となっております。次の15ページから30ページまで、第2期教育振興基本計画における3つの「基本目標」と、それぞれの「施策の方向」ごとに、『★（黒い星）』で示した「重点的な取り組み」、『○（白い丸）』で示した「重点事業」、『・（点）』で示した「重点事業を達成するための具体的な方法」をそれぞれ掲載しております。

具体的な内容につきましては、この後、各課所長からご説明をさせていただきますが、策定に当たっての考え方等についての説明は以上でございます。

それでは、15ページ以降の「重点的な取り組み」及び「重点事業」について、担当課所長から順次ご説明をさせていただきます。

鈴木教育センター所長 それでは、15ページをご覧ください。施策の方向1、自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む。時代に即した学校教育の推進。重点的な取り組み1、I C

Tを活用した教育の充実でございます。重点事業予算額は3億6,750万円でございます。校内系ネットワークを活用した児童生徒のICT活用能力の向上を図るため、ICT機器の整備や自学自習システムを活用した学習支援、プログラム教育の導入に向けた研究及び指導計画モデルの作成を行ってまいります。

続きまして、重点的な取り組み2、情報モラル教育の推進。継続事業でございます。パソコンやスマートフォン等の情報通信機器やSNSを正しく、しかも有効に活用できる力を育むため、教職員研修や家庭、地域を対象とした講演会の実施並びに、情報モラルの事業支援を行ってまいります。

小林指導課長 続きまして、重点的な取り組み3、学校図書館の充実でございます。学校司書の効果的な活用で、予算額は4,295万円です。学校司書の効果的な配置をするとともに、司書教諭や学校図書館運営ボランティアとの連携強化を目的とした研修会等を実施してまいります。

続きまして、指導内容の充実と指導方法の工夫改善。重点的な取り組み4、小中一貫教育を中心とする研究委嘱等の実施、685万円でございます。小中一貫教育に関する研究委嘱及び研究指定の実施等、その他各校への研究推進へ支援をしてまいりたいと思います。

鈴木教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み5、学力調査等の活用。継続事業でございます。各種学力調査の問題及び結果を分析し、教職員に必要な情報を提供します。また、学力向上研修会や国語科教育、算数・数学科教育の研究協議会等を実施し、教職員の資質、能力の向上を図ります。

小林指導課長 重点的な取り組み6、教科用図書関連事業の推進。教科用図書採択事務の円滑な実施でございます。予算額は23万円です。道徳を除く小学校使用教科用図書及び中学校使用教科用図書、これは道徳も含まれますが、これらの適正かつ公正な採択事務を実施してまいります。

続きまして、伝統文化を尊重し国際性を育む教育の推進、重点的な取り組み7、小中学校における英語教育の推進と語学指導助手（ALT）の活用でございます。小学校外国語科の実施に向けた環境整備で、予算額は7,200万円。拡充でございます。新学習指導要領の移行措置に対応する語学指導助手（ALT）を増員し、効果的な活用を図ってまいります。

続きまして、17ページをご覧ください。施策の方向2、自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む。安全教育の充実。重点的な取り組み8、防災教育の充実。自助・共助の意識を育てる防災教育の実施をしてまいります。「学校防災の日」における学校や地域の実態に即した防災訓練や、あるいは竜巻など多様な自然災害、弾道ミサイルの発射等を想定した防災学習の実施に向けた支援をしてまいります。

続きまして、心の教育の充実。重点的な取り組み9、道徳教育の振興。新学習指導要領に対応する道徳教育の実施、3万円でございます。拡充です。平成29年度、今年度に新たに作成した越谷市独自の副読本及び教員用活用事例集の活用に向けた支援を行ってまいります。

続きまして、重点的な取り組み10、きめ細かな生徒指導体制の充実。児童生徒の自己肯定感の高揚を図る積極的な生徒指導体制の整備、141万円でございます。非行問題行動の未然防止に向け、児童生徒の自己肯定感の高揚を意図した教職員研修の開催ですとか、あるいは学校警察連絡協議会及び生徒指導主任連絡協議会等を開催してまいります。

鈴木教育センター所長 恐れ入りますが、18ページをお開きください。続きまして、重点的な取り組み11、教育相談体制の充実でございます。拡充事業で、予算額は6,064万円でございます。学校相談員・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・学び総合指導員等と連携を図りながら、教育相談体制を充実してまいります。また、保護者の悩みに寄り添う教育相談サポートブックを作成し、ホームページ等で公開してまいります。

小林指導課長 重点的な取り組み12、いじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期解消。越谷市いじめ防止基本方針を踏まえたいじめ防止等に係る事業の実施、122万円でございます。越谷市いじめ防止基本方針の改定あるいは越谷市いじめ問題対策連絡協議会及び越谷市いじめ防止対策委員会の効果的な運営を行ってまいります。

鈴木教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み13、不登校児童生徒への教育的支援。継続事業でございます。スクールソーシャルワーカーの家庭への派遣や学び総合指導員の学校への派遣を行います。また、学校・フリースクール等・教育センターの3者による連絡会議を実施いたします。さらに学び総合指導員を中心とした適応指導教室「おあしす」における不登校児童生徒への支援を行ってまいります。

小林指導課長 続きまして、学校教育における人権教育の推進。重点的な取り組み14、教職員研修の充実。豊かな人権感覚を身につけるための研修の実施、99万円でございます。人権教育校長あるいは教頭研修会の開催、その他新採用、転入教職員対象の人権教育研修会等を行ってまいります。

鈴木教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み15、情報モラル教育の推進につきましては、再掲でございます。

小林指導課長 19ページをご覧ください。健康教育の充実。重点的な取り組み16、児童生徒の体力向上と健康教育の推進。健康と命の大切さについて学ぶ健康教育の実施。拡充でございます。越谷市がん対策推進条例を踏まえた事業の実施、また中学校における講演会の新規実施等を行ってまいります。

田川給食課長 学校給食の充実と食育の推進。重点的な取り組み17、栄養管理の充実。給食献立の研究で5万円で、拡充事業です。郷土料理を取り入れた献立の導入などを行ってまいります。また、食物アレルギーへの対応で拡充事業です。料理別に使用している食材や特定原材料など、わかりやすい献立表を提供してまいります。

重点的な取り組み18、食に関する指導の充実。和食についての指導です。栄養教諭等と担任が

連携した、食事の作法等を含めた和食の基本に関する指導の実施等を行ってまいります。

岡本学務課長 恐れ入りますが、20ページをお開きください。施策の方向3、信頼される、質の高い教育環境をつくる。教育支援体制の充実。重点的な取り組み19、多様な就学機会への支援でございます。就学援助制度の円滑な実施と適切な運用、4億200万円、拡充でございます。従来から行っておりました就学支援制度でございますが、このたび新入学生徒が中学校入学前に必要とする学用品費の入学前支給を拡充をして実施いたします。

渡辺教育総務課長 続きまして、入学準備金の貸付制度の活用の促進と適切な運用、予算額は4,000万でございます。制度の適切な貸付事務を行うとともに、収納対策の強化にも努めてまいります。

重点的な取り組み20、幼稚園教育の振興。幼稚園教育への支援、5億8,530万でございます。幼稚園就園奨励費補助金をはじめ3つの補助金を引き続き交付し、各幼稚園の支援を行うことによって、本市の幼稚園教育の振興に努めてまいります。

岡本学務課長 重点的な取り組み21、特別支援教育支援員等の配置。児童生徒の豊かな学校生活と円滑な学校運営のための支援として6,234万円を計上しております。拡充でございます。特別支援教育支援員の増員と効果的な配置、また日本語が不自由な状況にある子どもたちへの日本語指導員の配置等に努めてまいります。

鈴木教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み22、児童生徒一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進でございます。発達支援訪問指導につきましては、拡充事業で、予算額は270万円でございます。個別的な支援が必要な児童生徒に対する教職員の指導力を高めるために、平成30年度は専門家による訪問指導の回数を、全小中学校1回から2回に拡充いたします。

また、特別支援教育に関する教職員研修を実施し、指導力の向上を図ってまいります。

紺野学校管理課長 21ページをご覧ください。義務教育施設の整備と充実。重点的な取り組み23、安全な学校施設の整備と充実。安全な学習環境の確保、予算は1億2,750万円、継続事業でございます。福祉環境整備や老朽化対策、緊急性の高い箇所など、計画的に施設改修を実施するものです。具体的には、点字ブロックやスロープ等の福祉環境整備、古い給水管の交換等老朽化対策と緊急性の高い箇所を計画的に改修する事業でございます。

次に、小学校校舎の増築でございます。予算が297万1,000円。拡充事業でございます。

〔桁が違う。2,900〕と答える者あり〕

紺野学校管理課長 2,971万円でございます。失礼いたしました。

児童数の増加に伴う教室不足に対応するため、川柳小学校における校舎の増築に向けた地質調査及び設計業務を実施するものであります。安全な学校施設の整備と充実を図るために必要な事業であるため、拡充事業としております。川柳小学校につきましては、大相模小学校の学区の一部見直しに伴いまして、最大で5クラス分の教室不足発生が予測されており、現在の校舎西側に

隣接して、3階建て、6教室分の校舎を平成31年度に建築をしようとするものでございます。

続きまして、快適な学校環境の整備と充実。重点的な取り組み24でございます。トイレの洋式化、予算が3,000万円でございます。拡充事業でございます。学校におけるトイレの洋式化につきましては、平成28年度から小学校1年生が使用するトイレについて、和式便器1基を残して、洋式便器の設置を進めているところでございます。平成30年度につきましては、さらなる進捗を図るべく、便器の洋式化に努めてまいりますことから、拡充事業としております。

鈴木教育センター所長 続きまして、重点的な取り組み25、教育情報の収集・発信および教育ネットワークの管理・運用でございます。予算額は2億5,912万円、継続事業でございます。平成30年度当初より、学校系ネットワークの校務支援システムが運用開始となります。全ての教員がシステムを十分に活用できるよう支援し、教育の質の向上と公務の効率化を図ってまいります。

続きまして、重点的な取り組み26、教職員研修の充実でございます。予算額は475万円で、継続事業でございます。教職員の資質向上と研修環境の充実を目指し、法定研修を中心とした県費負担教職員研修の円滑な実施と、本市独自の研修をさらに充実させてまいります。また、埼玉県が実施する研修に参加する際には委託料が発生しますので、予算額の中には県への委託料も含まれております。

岡本学務課長 続きまして、22ページをお開きください。重点的な取り組み27、教職員の健康の維持と管理でございます。教職員の心身の健康管理ということで、1,670万円を計上させていただいております。継続事業でございます。本年2月より在校時間の適正な管理ということで、出退勤管理システムを導入をいたしました。これによりまして、長時間にわたる在校者等々の勤務時間管理を適切に行っていく必要が今まで以上に求められております。それらのために活用してまいりますとともに、メンタルヘルス対策として、ストレスチェック事業の実施を継続して行ってまいります。

小林指導課長 続きまして、重点的な取り組み28、学校評価の充実。コミュニティ・スクールの推進。予算は62万円でございます。拡充事業です。小学校3校、中学校1校の1中学校ブロックに学校運営協議会を新規に設置してまいります。また、中学校2校、小学校4校の2中学校ブロックに先行研究を実施してまいります。学校運営協議会と学校応援団の連携・協働体制づくりへの支援等も行なってまいります。

重点的な取り組み29、学校応援団の推進。学校応援団の運営と学習支援体制の整備、400万円でございます。学校応援コーディネーター、学校運営協議会委員及び学校応援団担当教員等を対象とした研修会を実施するとともに、学習支援の充実を目指した退職教員ボランティア及び学生ボランティア制度並びに自学自習システムの活用を図ってまいります。

木村生涯学習課調整幹 続きまして、23ページ、基本目標2、生涯にわたる学びを充実し、地域の文化を創造する。施策の方向1、生涯を通じた学習活動を推進するでございます。重点的な取り

組み30、市民との協働による推進体制の充実です。市民組織やボランティアとの協働で実施している事業について、大学への働きかけなど、企画運営への参画を促進する広報活動を実施してまいります。

次に、重点的な取り組み31、家庭の教育力の向上、予算額53万7,000円でございます。子育て講座や家庭教育学級の開催により、家庭の教育力の向上に取り組んでまいります。

次に、重点的な取り組み32、ライフステージ・ライフスタイルに対応した学習機会の充実、予算額1,316万円でございます。市民が主体的に学ぶことができるよう、公民館での学級・講座の開催など、学習機会の充実に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み33、人材育成の支援、予算額13万6,000円でございます。生涯学習リーダー・ボランティア養成講座を開催し、生涯学習事業への企画運営ボランティアの参画促進に努めてまいります。

続いて、24ページでございます。重点的な取り組み34、人権教育推進事業の充実、予算額280万1,000円でございます。講演会や講座等の開催により、人権・同和教育の普及・啓発に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み35、あだたら高原少年自然の家の利用促進、予算額165万円でございます。社会教育関係団体等への情報提供を継続するほか、市民参加による森づくりの一環である「ふれあいの森育てる集い」を実施し、施設の利用促進に努めてまいります。

小林科学技術体験センター所長 次に、重点的な取り組み36、ライフステージに応じた科学技術体験センター事業の充実でございます。予算額360万円、拡充事業でございます。科学的な見方や考え方を育成できるよう、サイエンスコミュニケーションを取り入れた1つの実験事業を3回に分けて行ってまいります。また、プログラミングに興味を持ち、プログラミング的思考を育むことができるよう、マサチューセッツ工科大学がつくりました、プログラミングを簡単にできる「スクラッチ」というソフトを使用した体験事業を実施してまいります。

その他、平日開催しています生物学講座同様、シニア世代の方のために、江戸の科学についての講座を始るとともに、子育て奮闘中の方には、親子で遊んだ後、お子さんと離れて工作体験ができる講座を開催するなど、科学体験事業の充実に努めてまいります。

横山図書館長 25ページをご覧ください。重点的な取り組み37の図書館機能の充実。拡充事業ですが、資料の計画的な収集として5,047万円になります。北部図書室に児童向けの資料を充実させます。また、やさしく、読みやすい本LLブックの収集をしてまいります。また、耳で聞く読書である録音図書の作製を行ってまいります。

重点的な取り組み38の図書館サービスの充実。拡充事業ですが、市民の読書活動の推進として170万円になります。並べてある本を選んで借りてもらうだけでなく、「おすすめ本」コーナーの設置、テーマに沿った資料の配置図を併記したパスファインダーを作成するなど、積極的に読

書の推進に向けた活動を行います。また、市制60周年を記念して、地域資料の展示を行います。

さらに、利用者の利便性を図るため、「返却用ブックポスト」を南越谷のヴァリエに設置する予定でございます。これは、地元からの強い要望に応えるもので、初の試みですので、この効果について検証してまいりたいと考えております。また、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供を行ってまいります。

次に、重点的な取り組み39の子ども読書活動の推進ですが、各種講座等の開催による家庭・地域・学校等における読書活動の推進として、26万円になります。学校図書館ボランティアに向けての講座等の開催や親子を対象とする講座の開催を行ってまいります。

次に、学校との連携と子どもが読書に親しむ機会の提供。拡充事業ですが、まず調べ学習用の資料の充実として、統計資料なども整備してまいりたいと考えております。また、図書館見学を実施し、関連する施設への配本を充実させます。さらに、職員が行う「読み聞かせ」はもちろんのこと、ボランティアの方々による「読み聞かせ」、「おはなし会」の充実を図ります。保育所や小学校などへの資料の所管換えや夏休みの利用が多いことから、それに合わせた利用案内を配布し、グレードに合わせたお勧め本のブックリストの配布を行ってまいります。

木村生涯学習課調整幹 続きまして、26ページ、施策の方向2、芸術文化活動を推進し、伝統文化を継承するでございます。重点的な取り組み40、市民との連携による発表機会の充実、予算額440万円でございます。第50回を迎える越谷市民文化祭を実施いたします。また、文化総合誌「川のあるまち」につきまして、販売書店の新規開拓等を行い、販売促進に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み41、伝統文化の振興と継承、予算額33万円でございます。郷土芸能体験教室につきまして、小学生にも理解しやすいような内容に改善を図ってまいります。また、電子申請による応募環境の整備に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み42、文化財の保存と活用。歴史資料の公開。拡充事業でございます。民具や発掘調査における出土品等を紹介する展示、また広報活動を実施し、郷土の歴史を学習する機会の充実に努めてまいります。

続いて、27ページでございます。重点的な取り組み43、埋蔵文化財の保護、予算額1,639万円でございます。大道遺跡の発掘調査を行うとともに、調査体験の機会提供や資料展示による広報に努めてまいります。

次に、重点的な取り組み44、大間野町旧中村家住宅の利活用の促進、予算額260万円。あわせまして、重点的な取り組み45、旧東方村中村家住宅の利活用の促進、予算額330万4,000円でございます。学校の社会科見学や公民館事業等における郷土に関する学習の場として、大間野町旧中村家住宅及び旧東方村中村家住宅の活用を促進してまいります。

矢部スポーツ振興課長 それでは、28ページをお開きください。基本目標3、生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しめる環境をつくる。施策の方向1、健康ライフスタイルづくりを支

援する。重点的な取り組み46、参加者への支援。参加しやすい環境の整備でございますが、スポーツ教室等における子育ての支援として、引き続き臨時保育室を設置し、参加機会の充実に努めてまいります。

重点的な取り組み47、多様な機会を活用した参加促進、予算額28万4,000円でございます。気軽にスポーツを始められる機会の提供として、スポーツ活動や各種イベントにおけるスタンプラリーを継続して実施してまいります。また、元荒川緑道・新方川緑道の整備に伴い、ウォーキングマップの作成に向けた取り組みを行います。

重点的な取り組み48、高齢者の健康づくりの支援、予算額7万5,000円でございます。高齢者のスポーツ推進への取り組みとして、65歳からを対象とした「いきいき元気教室」を開催するほか、講師とともに福祉施設へ出向き、スポーツ・レクリエーションの楽しさを伝える出前講座を実施いたします。

重点的な取り組み49、スポーツ観戦機会の充実。東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた気運醸成活動として、埼玉県や関係機関等と連携を図り、PR活動に努めます。新規事業でございます。それから、スポーツ大会やスポーツイベントの誘致。スポーツ大会の誘致として、プロ野球イースタンリーグ、大相撲越谷場所、さらに首都大学野球のリーグ戦を誘致してまいります。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、総合体育館及びしらこぼと運動公園競技場を事前トレーニングキャンプ候補地として利用していただくよう取り組んでまいります。

29ページをご覧ください。施策の方向2、スポーツ・レクリエーション活動を支援する体制の充実を図る。重点的な取り組み50、スポーツボランティアの養成と登録。ボランティア活動推進への取り組みでございますが、制度の周知として、ホームページや「広報こしがや」に掲載するとともに、体育施設に設置してあるモニターテレビを活用した広告、さらに市内のスポーツ店へ募集のチラシなどを配布し、登録者の増加を図ります。また、活動の場として、元旦マラソンやさいたま国際マラソンへのボランティアを募集してまいります。

重点的な取り組み51、スポーツリーダーバンクの充実。スポーツリーダーバンクの登録の促進と活用について、登録だけではなく、活用にも重点を置き、自治会等と連携してスポーツ教室を開催し、登録者を活用するほか、障がい者施設への出前講座においても、スポーツリーダーバンクの登録者を活用してまいります。

30ページをお開きください。施策の方向3、スポーツ・レクリエーション施設の充実を図る。重点的な取り組み52、総合体育館の利活用の促進、予算額1,460万円でございます。総合体育館を利用の方が安全で安心して快適に利用できるよう、第1体育室正面入口トイレの改修や非常用照明用蓄電池の交換、外玄関エントランスの雨どい修繕を行います。

スポーツ大会の誘致といたしましては、先ほど述べたとおりでございます。

重点的な取り組み53、地域体育館の利用促進、予算額330万円でございます。これらも、利用者が安全で安心して快適に施設を利用できるよう、修繕や設備の定期点検を行います。

重点的な取り組み54、屋外体育施設の利活用の促進、予算額2,900万円でございます。東越谷第二公園庭球場の照明改修工事や市民球場のグラウンド改修工事等を行います。

スポーツ大会の誘致につきましては、先ほど述べたとおりです。

横川教育総務部長 「平成30年度教育行政重点施策」についての説明は以上でございます。

ご協議のほど、よろしく願いをいたします。

堀川委員長職務代理者 それでは、これより協議に入ります。

ご意見等ございますでしょうか。

[発言する者なし]

堀川委員長職務代理者 それでは、私から一つ。

21ページ、重点的な取り組み25、教育情報の収集・発信および教育ネットワークの管理・運用ということで、先生方の授業以外での仕事が大変多くて問題となっておりますけれども、ICTを活用して少しでも軽減されればいいなと思いますけれども、具体的にどのようなことが軽減されるのか、活用するのかということをお教えいただければと思います。

吉田教育長 教育センター所長。

鈴木教育センター所長 このシステムにつきましては、まず今紙媒体で行っております出席簿、こちらを電子化いたします。あわせて、通知表、またそこから連動されます指導要録、そういったものが一元管理されることによって、1つのシステムで全てを完結するという形になります。現在各学校では、ある教員がつくったものを使っていたり、あるいは市販のものを使っていたりという形で、ばらばらな状態であります。それを、全ての小中学校が同じシステムを使うことにより、例えば市内で異動があったとしても、すぐにこのシステムに教職員が対応することができるようになります。

堀川委員長職務代理者 わかりました。ありがとうございました。

吉田教育長 学務課長、補足はない。

岡本学務課長 主に対象となってまいりますのが、教諭、それから養護教諭、それから教頭の校務負担が軽減されるものというふうを考えております。教諭につきましては、今教育センター所長から申しあげましたとおり、例えば学期末の処理あるいは日々のテストの処理等々について、入力処理が非常に簡便になります。あとは、毎日使うものとしての出席簿等々の統計につきましても非常に簡便な状況になるかなと思います。

同時に、それらのものは、教頭、校長を通じまして教育委員会に報告を上げていただく性質のものが多いものですから、それらを今までは、教頭が手計算、入力、確認をしておりましたが、それらのものが全て情報として連動しておりますので、恐らく教頭は二、三回のクリックをする

ことによって、教育委員会への報告資料の作成が可能になる状況があるかと思えます。

また同時に、それら児童生徒の情報ですとか、そういったものは養護教諭が保健指導等に活用している状況がございます。それらの情報とも連動し、なおかつ担任が今まで手で用紙に対して書き込んでいたものを、一度入力することによって、養護教諭等々が保健指導に幅広く活用できる状況が生まれることから、一度の入力した情報が多様な形で活用できるというような状況が生まれるものというふうにして考えております。

以上です。

堀川委員長職務代理者 大変よくわかりました。ありがとうございました。

吉田教育長 便利なようだけれども、新しいシステムの導入によって、煩わしさを感じる現場もあるのではないの。

岡本学務課長 確かに先生方にとって、今までも、本市の場合には、この新システムは導入している状況がありましたので、それになれ親しんでいる部分から、新しい部門に対するものということでの不安の声は寄せられておりますが、教育センター所長を中心に、校長をはじめ教頭、主幹教諭、さらには養護教諭等の研修会等も既に実施、また3月にも実施していくことで、4月からの利便性を実感していただくべく取り組んでいるところでございます。

以上です。

堀川委員長職務代理者 関連しまして、では逆に情報の管理ということになるかと思うのですけれども、それについてはどのように。

吉田教育長 教育センター所長。

鈴木教育センター所長 情報の管理につきましては、現在データセンターで一括管理をしております。まず、情報を外に出すことが絶対にできない仕組みになっております。そのため、電子データの情報漏えいはありません。また、そのサーバーにつきましても、耐震等の有事の場合におきましても、安心安全な形になっておりますので、データがなくなるということも考えられない状況でございます。

以上です。

堀川委員長職務代理者 ありがとうございました。

他に何かございますでしょうか。

荒木委員さん。

荒木委員 26ページの芸術のことなのですがけれども、市民文化祭が50回目ということで、特別プログラムによる文化祭を実施するというので、特別プログラムというのは、具体的には今のところどのようなものを想定しているのかお聞きしたいと思います。

吉田教育長 生涯学習課調整幹。

木村生涯学習課調整幹 現在調整段階でのご回答ということになりますが、記念セレモニーという

形で、文化祭の冒頭に時間を設けまして行いたいというもので、書道吟とされているそうなのですが、ステージ上で詩吟を吟じていただいて、その吟じている内容を、ふすまほどの大きさの用紙に書で書き写していくといたしますか、先だって市民体育祭中央大会で、高校生たちが大きな用紙に大きな筆で書道パフォーマンスを演じましたが、あそこまで大きなものではないのですけれども、吟じているものを、そのまま詩を書き写していくというような形で、詩吟協会、また書道連盟の方と調整しながら進めていくことについて、企画をしているところでございます。それが1点。

次に、50回ということで、過去に49回実施しているわけですが、これまで行っておりました過去の文化祭の写真、またプログラムの表紙の原画とか、そういったものをホールギャラリーで展示をして、歴史についても知っていただきたいというふうな取り組みを考えているところでございます。

以上です。

堀川委員長職務代理者 他にございませんでしょうか。

[発言する者なし]

堀川委員長職務代理者 なければ、いただいたご意見等を踏まえて進めていただければと思います。

◎留守番電話の設置・活用について

堀川委員長職務代理者 続きまして、「留守番電話の設置・活用について」、教育長の説明をお願いいたします。

吉田教育長 学務課長。

岡本学務課長 それでは、留守番電話の設置・活用についてご説明いたします。

恐れ入りますが、会議要項の19ページをご覧ください。

先月の教育委員会会議でもご説明いたしましたが、平成29年6月に文部科学大臣から中央教育審議会に対して、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」、このことが諮問され、中央教育審議会では、初等中等教育分科会に学校における働き方改革特別部会を設置し、同年8月29日に「学校における働き方改革に係る緊急提言」、さらにその特別部会の議論を経て、中央教育審議会では、同年12月22日に「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（中間まとめ）（案）」を検討しているところでございます。

また、文部科学省では、同年12月26日に「学校における働き方改革に関する緊急対策」を発表し、文部科学省が中心的に実施していく内容を明示したところでございます。

これらの緊急提言や緊急対策では、教育の質を高め、教職員の負担軽減が喫緊の課題であるこ

と、また今できることを直ちに行うというスピード感が求められていること、教職員一人一人や学校の取り組みも重要であるのと同時に、教育委員会の役割が大きいことを述べられていることが挙げられると考えます。

そこで、本市においても、教職員の働き方改革をより一層推進し、「今できることは直ちに行う」という視点から検討し、本日教育委員の皆様、学校における留守番電話の設置・活用についてご協議いただきたく提案するものでございます。

学校においては、教職員の勤務時間は1日7時間45分とされておりまして、市内の小中学校では、多くの学校が午前8時15分勤務開始、午後4時45分勤務終了という形で、各学校の校長が勤務時間を割り振っております。しかし、実情として、その時間以外にも、保護者や地域との連携、連絡調整などを行っております。結果として、夜遅くまで対応する事例を散見いたします。

そこで、教職員が本来の業務である授業準備や児童生徒理解に十分に取り組めるよう、留守番電話の設置・活用を図ってまいりたいと思います。既に市立小中学校45校には、留守番電話機能つき電話が設置されていることから、その電話に各学校で応答メッセージを録音し、電話受け付け時間を設定しようというものでございます。留守番電話機能を設置することで、その時間以降は学校が「閉まっている」ような状況となり、その結果として、教職員が仕事に集中できる、あるいは安心して帰宅することができる、そういった環境を整えることができるものと考えております。

具体的な実施時期といたしましては、平成30年の4月の16日月曜日から一斉に実施できればというふうに考えております。

なお、受け付け時間としては、例として平日7時30分から午後6時30分までの間という形で、これを電話受け付け時間というふうに設定しようというふうに例示をさせていただきました。

留守番電話の設置・活用についてのご説明は以上でございます。ご協議のほどよろしく願いいたします。

吉田教育長 そういうふうにしますよという、保護者、地域への周知というのはありますか。

岡本学務課長 まず、この後ご協議をいただきまして、私どものほうで起案決裁をさせていただいた後、まず各学校の学校長に案内をいたします。その後、学校を通じまして、保護者の方々へのご案内をさせていただきたく考えております。

この場合、外部からの問い合わせ等々のことも考えられることから、現在のところ、「広報こしがや」4月号に紙面をとらせていただきまして、このような形で学校で電話受け付け時間を設定しているという旨をご案内をさせていただこうというふうに考えているところでございます。また、各学校が、学校の学校だより等を4月の当初に発行いたしますところから、そこにも文例を示し、市内45校が同じ形で文を示せるような形をとりたいというふうに考えております。

以上です。

堀川委員長職務代理者 ただいまの事務局の説明に対してご質問、ご意見等はございますか。
よろしいでしょうか。

[発言する者なし]

堀川委員長職務代理者 では、そのように進めていただければと思います。

◎越谷市いじめ防止基本方針（素案）について

堀川委員長職務代理者 続きまして、「越谷市いじめ防止基本方針について」、教育長の説明を求めます。

吉田教育長 指導課長。

小林指導課長 それでは、越谷市いじめ防止基本方針（素案）についてご説明いたします。

恐れ入りますが、別冊4「越谷市いじめ防止基本方針（素案）」をお開きください。

いじめ防止対策推進法第12条の規定及び「いじめ防止等のための基本的な方針」に基づき、越谷市及び越谷市教育委員会は、平成27年3月に「越谷市いじめ防止基本方針」を定め、いじめの未然防止、早期発見、早期対応及び早期解消のためのさまざまな取り組みを行ってまいりました。

文部科学省は、平成29年3月に、「いじめ防止等のための基本的な方針」を改定するとともに、「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」を設定しました。さらに、埼玉県は、平成29年7月に「いじめ防止等のための基本的な方針」の改定を行ってまいりました。これらの改定内容を参酌し、本市としても「越谷市いじめ防止基本方針」の見直しを図ってまいります。今回の改定は、さまざまな修正が行われておりますが、一番大切なことは「いじめを見逃さない」ことであると捉えております。

主な改定事項についてまとめた資料がございますので、その資料に沿って順次ご説明申し上げます。恐れ入りますが、お手元の資料4の1ページをお開きください。

「越谷市いじめ防止基本方針の主な改定事項」をご覧ください。左から国の改定、県の改定、本市のこれまでの方針、そして今回の改定後の方針の順で並べております。なお、下線部がそれぞれ改定された文となっておりますが、本市の基本方針にあらかじめ位置づけていた項目については修正しておりません。

初めに、「いじめの定義に関して」ということで2つの改定事項がございます。1つ目は、「けんかやふざけ合いの背景」でございますが、一番右の枠にAという表記がございます。資料4の6ページの新旧対照表の表記と一致させており、どの改定事項がどの部分であるかわかるように示してあります。

2つ目の「いじめ」という言葉を使わない柔軟な対応についてですが、新たに項目を追加いたします。

続いて、「地方公共団体が実施すべき施策」ということで、「いじめに関する通報及び相談体制

の整備・周知」、「いじめの未然防止に向けての幼児期の教育」、「情報モラル教育の充実」の3つの改定事項がございます。情報モラルについては、本市の基本方針にはあらかじめ位置づけておりましたので、修正しておりません。

続いて、「学校の設置者として実施すべき施策」ということで、「学校評価の評価項目に位置づける」、「いじめに対する措置の支援及びその周知」「アンケート調査・個人面談の取り組み状況の把握」、「いじめの問題に関する校舎内研修」、「児童生徒からの相談に対応できる体制整備」、「地域との連携・協働」の6点の改定事項がございます。

次に、資料4の2ページをご覧ください。「学校が実施すべき施策」として、9点の改定事項がございます。1点目から3点目は、学校いじめ防止基本方針に関することですので、一括して改定しております。

続いて、「基本方針に基づく取組状況の学校評価項目への位置付け」、「いじめ防止に関する児童生徒の自主的活動」については、修正はございません。「学校いじめ対策組織の役割と構成」については、一部追加しております。

3ページをご覧ください。「学校が実施すべき施策」の続きですが、「学校いじめ対策組織へいじめの報告・対応」、「迅速に対応することの徹底」、「いじめの解消」についての追加または修正をしております。

最後に、「重大事態への対処」について、「重大事態の判断」という改定事項がございますが、本市の基本方針の「重大事態の定義」にあらかじめ位置づけておりましたので、修正しておりません。

他にも細かな文言の修正等もございますが、国及び県の方針の改定を参酌して修正をしております。なお、本市の基本方針は、これまでも国及び県の基本方針と比較して、必要なポイントは押さえながらも、細か過ぎない表現で作成されておりましたので、今回の改定におきましても、その流れを踏襲しております。

続きまして、資料4の19ページをお開きください。一番最後になります。「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」の策定を受けて、「越谷市いじめ重大事態の調査に関する具体的な手順」の素案を新たに作成いたしました。

これまでも学校及び教育委員会は、いじめによる重大事態が発生したときには、いじめ防止対策推進法の規定に基づいて対応するべく、越谷市いじめ防止基本方針に「重大事態の対処」を位置づけてまいりましたが、国が示したガイドラインを踏まえて適切に対応するため、これまでもあったフローチャートをもとに、具体的な手順としてまとめたものでございます。

重大事態の認識から最後の報告、調査結果の公表までの流れを1枚のシートにまとめる形で作成しております。学校で実際に重大事態が発生した場合には、事態の把握、被害及び加害児童生徒への対応、それぞれの保護者への対応、それ以外の児童生徒への対応、教育委員会への報告、

関係機関との連携など、対応することが多岐にわたり、教職員の精神的な負担も考えると、ミスが生ずることも懸念されます。そこで、重大事態への対応で押さえるべきポイントや手順をまとめ、詳細についてはガイドラインを参照できるよう、ページ番号や法的な位置づけなどについて示しております。

重大事態が発生したら、学校はすぐに教育委員会へ、教育委員会は市長へ報告し、調査組織を設置することになりますが、学校に設置するのか教育委員会に設置するのかについては、その案件の発生状況等により教育委員会が判断することとなります。

なお、教育委員会に設置する場合には、「いじめ防止対策委員会」が調査を進めることとなります。また、教育委員会は、調査について、必要な指導、支援をまいります。

調査を進めるに当たっては、被害児童生徒・保護者への情報提供を行うこととなっており、左側中段にそのポイントを示しております。また、留意事項については、その右側にポイントを示しております。

調査の結果は、報告書にまとめられ、市長にも報告を行うこととなります。その際、被害児童生徒・保護者は、調査結果に係る所見をまとめた文書を添えることができます。

なお、調査結果については、教育委員会会議において議題として取り扱い、総合教育会議において議題として取り扱うことも検討することとなります。また、調査結果の報告を受けた市長が、その調査について不十分であると判断した場合、再調査を行うこととなります。

再調査以降の流れは、右下に示しております。また、調査結果の説明や加害児童生徒、他の児童生徒等に対する情報提供、調査結果を踏まえた対応のポイントについて、左側下段にまとめています。

調査結果の公表については、事案の内容や重大性、被害児童生徒・保護者の意向、公表した場合の児童生徒への影響等を総合的に勘案して、適切に判断することとなります。

本日もご協議いただき、修正を加えた素案については、3月にパブリックコメントを実施し、4月の教育委員会会議において議案として提案させていただく予定でございます。

越谷市いじめ防止基本方針の素案についてのご説明は以上でございます。ご協議のほど、よろしくお願い申し上げます。

吉田教育長 少し補足してもらいたいものだけでも、1つ、越谷市いじめ防止対策委員会は、基本方針の改定を主な業務の内容としているので、そことの関係について。それから国、県が修正したにもかかわらず、本市の修正なしということが多いのだけれども、どうしてそうなっているのか、この2点について。

小林指導課長 まず、1点目の越谷市のいじめ対策連絡協議会、いじめ防止対策委員会等については、今回のこの改定案については、これまでそれぞれの委員会とか連絡協議会と委員会の意見を踏まえた上で、提案をさせていただいております。

また、国、県の方針は改定しているけれども、越谷市のほうは改定していないということについては、越谷市でも改定はしているのですが、他の部分に含まれていたり、あるいはこれまで含まれていた内容で十分であることから記載しておりません。また、先ほど申し上げましたように、余り細かいものにしてしまうと動きがとりにくくなるということも踏まえて、改定していない部分もあるということでございます。

吉田教育長 先駆けて防止対策委員会で修正したところがあるのですか。

小林指導課長 はい、対策委員会において、既に修正を行ったものを提案いたしました。

吉田教育長 越谷市のいじめ防止対策委員会では、いじめというのは待ったなしということなので、こういう大きな改定があるということは事前にわかっていたのですけれども、その前に、既に1回修正を加えてある。したがって、今回については、修正なしという箇所が多くあったということでございます。補足させていただきました。

堀川委員長職務代理者 ありがとうございます。

これより協議に入ります。ご意見等ございますでしょうか。

吉田教育長 あと、いじめ問題等について、総合教育会議でというようなことがありましたけれども、対策委員会のときにも、市長部局からの内容が来ています。既にいじめが発生したときには、その都度市長部局に報告も上げているので、改めて総合教育会議を開かなくても大丈夫な状態にあるというようなことは、そのときに確認をしているということですよ。

小林指導課長 はい。

吉田教育長 あともう一点、最後のところの重大事態が発生した場合の報告等についての流れなのですが、これについても、重大事態が発生したらということの流れでここは書いてあるのですが、そうではなくて、いじめが発生したというような場合には、即教育委員会へ報告を上げるというようなことはやっていますので、これはあくまでも重大事態が発生したということで流れをつくってあるということですよ。

小林指導課長 今教育長がおっしゃったとおり、これはあくまでも重大事態が発生した場合の流れということで、ふだん日ごろ学校でいじめというのは起きておりますので、まず電話での一報が学校から入ります。また、生徒指導の生徒の諸問題の月例報告というところにも、いじめの発生についての報告の欄がございますので、そちらで件数及び細かな状況、そしてそのいじめについての報告があります。それは、次の月にもう解消されているかどうか、あるいはまだ継続している状態かというようなことも含め、報告をいただいて、そういった報告に合わせて、生徒指導担当を中心に、教育相談とも連携をとりながら学校を支援しているというところでございます。

堀川委員長職務代理者 私からよろしいでしょうか。

19ページの、重大事態が発生した場合に、調査委員会を立ち上げて、教育委員会、市長さんに報告が行き、調査委員会を立ち上げてということで、ある程度まとまった後、教育委員会会議に

て議題として取り上げるとなっていますけれども、その調査期間、場合によっては、すごく時間がかかったりということもあるのでありますけれども、そんなときに、私たち教育委員のほうに対しての情報提供とかということはありませんでしょうか。

吉田教育長 指導課長。

小林指導課長 こちらは、重大事態ですから、確かに委員さんがおっしゃるとおり、相当な調査に時間がかかる場合も想像されます。したがって、そのような場合には、フローチャートにあるとおり、まずは教育委員会、教育委員の皆様へ報告をすることとなります。

堀川委員長職務代理者 進藤委員さん。

進藤委員 この重大事態ということなのではございますけれども、重大というのも抽象的な要件で、この振り分けというのはどこでなされるのですか。教育委員会ですか。

吉田教育長 指導課長。

小林指導課長 重大事態の定義がそこに載っていますけれども、学校からの報告に基づいて、こちらのほうで、それが重大事態であるかどうか定義に照らし合わせて、まず第一義的には振り分けをさせていただきます。

堀川委員長職務代理者 よろしいですか。他にございませんでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

堀川委員長職務代理者 では、他になければ以上といたします。ご意見を踏まえて進めてください。

他に何かございますでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

堀川委員長職務代理者 では、以上といたします。

次回の教育委員会会議の日時でございますが、3月の23日金曜日、午後3時から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「はい」と答える者あり〕

堀川委員長職務代理者 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

堀川委員長職務代理者 それでは、本定例会に提出されました議案等全て終了いたしました。

これをもちまして閉会といたします。お疲れさまでした。ありがとうございました。

(午後 3時11分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

委員長
職務代理者

塚川 智子

委員

進藤 秀子

委員

荒木 明子

委員

吉田 茂

(教育長)

書記

教育総務課副課長 並木 智史